

◆梅炭抄織糸を活用したエコプロジェクト 『Made in Sensyu』による繊維製品の開発と 販路開拓

株式会社サンライジング（中小企業のグループ）

泉佐野市高松東1丁目10番37-508号
TEL：072-458-1250
FAX：072-458-1251
E-mail：hatsuarashi@bell.ocn.ne.jp
HP：http://www.sunrising-h.com/



取締役社長
初嵐 学

【事業概要】

株式会社サンライジングは、原材料である梅炭和紙を撚糸、染色加工工程におけるコストを大幅に削減することで、地場産業を盛り上げる起爆剤の『梅炭抄織糸』を活用した市場開発・販路開拓につなげます。

泉州産地には、タオル織物・綿布織物・ニット編物・毛布等を生産する様々な設備を持っている企業が多数あり、企画から製造販売までを泉州のチームとして、泉州の技術を集結させた『Made in Sensyu』をブランディング構築することで、繊維＝泉州というネームバリューを日本全国および世界へアピールできると期待できます。

梅炭抄織糸

泉州産地は昔から、「タオル」や「ニット」が地場産業です。先人達の技術やノウハウが伝承され、タオルの国内シェアは約60%であり、カシミア製品やニットにおいては、日本トップクラスの技術を持つ会社が泉州に存在します。その先人達の技術を生かし、泉州の企業3社（山陽製紙株式会社、株式会社アイソトープ、株式会社サンライジング）が連携して、梅炭和紙を使用した「抄織糸」からニットの製造化に成功しました。

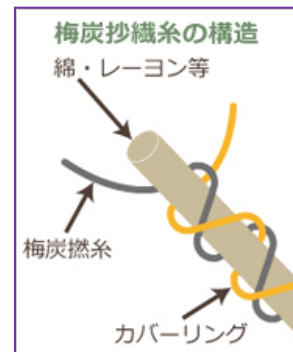
梅炭 / 梅炭和紙とは
日本古来からある健康食品と書えば『梅』。その種が至高の薬物として大蔵に抽出されておりました。それを炭焼き技術を生かし、リサイクル紙として再資源化したものが『梅炭』です。そして梅炭を「ワグー」状にして独自の製法で紙に抄き込み、スリットしたものを『梅炭和紙』と書います。梅炭和紙は高級調剤物から生まれた梅炭とリブで作ったロハスな紙でありながら、紙の持つあらゆる機能を秘めています。

効果・効能

1. 炭焼きより空気中の微粒子が多いことにより消臭・消菌効果に優れています。
2. 糸にすることで通常の繊維より毛羽織であり肌触りがよい。
3. 洗濯可能なため、天日干しすることで除菌・効果が持続します。

山陽製紙(株) 梅炭和紙
Eco-TOPE 梅アイソトープ ニットメーカー
MADOC 梅マドック WEB 販売
サンライジング 企画・販売
デザイン・開発
梅炭和紙加工/販売

梅炭
梅炭



◆和紙・シルクのビジネスソックス及び ランニングソックスの製造と販路開拓

有限会社 I T O I 生活文化研究所

岸和田市小松里町861-11
TEL : 072-445-8800
FAX : 072-445-8908
E-mail : itoitextile@car.ocn.ne.jp



会長

糸井 徹

【 事業概要 】

有限会社 I T O I 生活文化研究所は、日本の伝統文化の一つである和紙を、ハイテク技術を応用して糸にし、さらに細いシルクを組み合わせることで生活必需品である、高品質で且つ強度のある和紙・シルクのビジネスソックスとランニングソックスを研究・開発しています。この両ソックスは地球環境や健康にも良く日本の誇れる商品として、世界のマーケットに向けグローバルに販売していきます。

和紙の持つ天然の吸水性、速乾性、消臭性などの機能性を保ちつつ、且つ強度（綿の約3倍）を高め極限まで薄く細くした和紙糸とシルクを組み合わせることで新しい薄地で丈夫なビジネスソックス、ランニングソックスを製造します。このような伝統的な素材を活かしつつ新しい技術で作られた靴下には、無限大の市場が期待でき、地場産業に与える影響も大きく、地域活性化への波及効果も期待されます。



◆故繊維(コセンイ)の新市場開拓

大阪泉州故繊維協同組合

泉佐野市南中樫井611
TEL : 072-465-4351
FAX : 072-465-4351
E-mail : koji-n37@sea.plala.or.jp

理事長

東谷 泰章



【事業概要】

大阪泉州故繊維協同組合は、古着の染織別により、脱色工程を除外した古着の反毛(再綿化)による繊維リサイクルの新たな出口・市場創出を目指します。

京都工芸繊維大学大学院ファイプロ環境工学室が提唱する、古着のリサイクル阻害要因が素材の判定・選別方法にあることに着目し、色相による分別を基にした「カラー・リサイクルシステム」により、綿～混紡～化繊等の素材分別によらず、色相により古着を選別し反毛することで、新たな色調を得た材料を創出します。タグに頼らず色相で分別することは繊維リサイクルの一つの弱点を克服するものであり、反毛製品の省力化によるコストパフォーマンスと廃棄物の再利用が見込め、環境に優しい新たな再生繊維市場を開拓することとなります。

また、地場産業である故繊維産業の「出口(再利用)」が確保され、関連産業である反毛事業者の活性化への経済効果も期待されるとともに、地域雇用の増大も見込まれます。



◎季節毎に古着を色分別

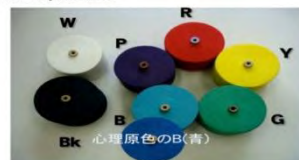
単色の古着をチェックし傾向を把握



◎色分別はマンセル色相環を用いる

Experiment 混色

Material for experiment



*記号はマンセル表色系による色相(hue)の表記

2色の色相を
75:25、50:50、25:75で混色

試料:5cm×5cm
各0.50g 45色



B(ブルー)に関しては、マンセル表色系の代表色相『5B』だけでなく、心理原色に近いブルー(この試料にみかしては『110B』も混色に在る。

◎色分別した繊維を反毛(ハンモウ=再綿化)し

混色

◎消費者が好む色合いを見つけ出す